

**北杜市地域公共交通会議
北杜市地域公共交通活性化協議会
(令和4年度第2回)
会 議 録**

北杜市企画部企画課

会 議 録

会 議 名：北杜市地域公共交通会議・北杜市地域公共交通活性化協議会（令和４年度第２回）

開催日時：令和４年１２月２３日（金） 午前１０時～午前１０時５０分

開催場所：北杜市役所 ３階 大会議室

会議次第：協議事項

- （１）北杜市地域公共交通計画の策定について
- （２）来年度の方向性について

会議資料：会議次第・資料

会議の公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）：公開

傍聴人の数（公開した場合）：１人

出席委員：三井健一、雨宮正英、篠原勇、菊島貴、宮沢俊作、清水精、清水重仁、平出利彦（代理）、秋山裕保、藤巻伸夫、本住武司、小林人士（代理）、山下大輔、金子哲也、堀内弘、大柴政敏、桜井彰一、小林明、齋藤乙巳士

欠席委員：植松耕三、鈴木博義、高橋隆、日野水丈二、鈴木文彦

事務局：中田治仁企画部長、土屋雅光企画課長、
吉田武企画担当リーダー

会議録署名委員：宮沢俊作、清水重仁

1 審議結果

(1) 北杜市地域公共交通計画の策定について

・第1回交通会議・活性化協議会后、7月中旬に4つの各エリアにおいて、運営委員会を開催し、令和2年～3年の利用実績の分析や、利用促進の方向性の検討などの情報を共有するとともに、各エリアの課題などを確認した。地域交通計画の策定にむけて計画への反映を視野に入れた中で議論した。

今年度は運営委員会としては初の試みとして、4つの各エリア代表者による運営委員会全体会を9月に開催した。各エリアの運営委員会では、エリア内の交通の検討を中心に行っており、他エリアの課題の共有や、利用促進に関する意見交換などは行う機会がなかったことから実施した。

全体会では、エリア内の課題を解決していくためには、エリアを越えた検討を行う必要もある、との意見も出され、その後、10月、11月にも全体会を実施し、計3回実施する中で、市全体の交通の方向性を検討した。

エリア別運営委員会明野・須玉エリアでは、デマンド化も視野に入れた検討を行っており、増富・黒森地区との調整が必要であることから、意見交換を実施し検討を進めている。

北杜市地域公共交通計画は現在素案として取りまとめている。大きく3編に分け、第1編が現状と課題、第2編が公共交通施策の展開、第3編が計画の推進としている。計画の方向性について協議をお願いしたい。なお方向性については各エリアの運営委員会、運営委員会の全体会で協議、意見交換を行ってきた内容を反映させたものとなっている。

方向性を具体的にしたもの7つの方針として記載している。方針1は、『公共交通を必要としている人をターゲットにする』とし、交通不便者にターゲットを絞り、移動を確保するという一方で、交通不便者は、高齢者と高校生が多いことから、高齢者の通院・買い物需要への対応、高校生については、通学の移動需要に対応していくことにより、利便性を向上させることを方針としている。方針2は、『幹線と支線を組み合わせた公共交通網を育て、利便性を向上させる』とし、これまでと同様に、北杜市の広い範囲をカバーするためには、幹線と支線を組み合わせることにより、利便性を高める方針としている。方針3は、『エリア（生活圏）を単位に公共交通を維持・改善する』とし、本市の移動需要の特徴として、引き続き4つのエリアという考え方をとり、これまでどおりエリアごとに検討していくことを基本とすることを方針としている。方針4は、各エリア運営委員会において検討していくことを方針としている。なお、各エリア運営委員会は、これまで支線の運行を中心に検討してきたが、幹線も含め検討する必要もあることから必要に応じ幹線に関しても検討する。方針5は『公共交通網の維持に必要な予算を確保する』とすることを方針としている。方針6は『公共交通に関わるすべての人が協力して利用促進を展開する』とし、市民参加が前提であることや、今後も、地域自らが「つくり、守り、育てる」体制をとることを方針としている。方針7は、目標を設定し利用しやすい公共交通を目指していく。なお、計画策定スケジュールとしては、年明け以降にパブリックコメントを実施し、年度内での策定を予定したい。

(質疑応答)

委員：利便性を向上させるとされているが、今後、どのような予算でどのようにやっていくのか。

事務局：具体的な内容は、この後の協議事項になっている。概要としては、運営委員会でエリアごとの課題が上がってきており、それを改善していくことが基本となる。予算については、拡大は難しい状況があるので、できる限り維持しながら、工夫して使っていくことを考えている。

(その他意見等なく承認された)

(2) 来年度の方向性について

・明野・須玉エリアは、増富・黒森地区との意見交換を進めている。

高根・長坂・大泉エリアは、利用が順調であることから、今後も現状を継続していく。

小淵沢エリアは、エリア内にニーズの高い目的地が少ない、長坂町、富士見町への移動確保などの課題があり、より使いやすい形への改善を検討する。支線のデマンドの見直しに加え、幹線の東西線、北線の見直しも含めた中で利便性の向上を図る。

白州、武川エリアは、幹線の利用が好調である一方、デマンドバスの利用は低調であり、ニーズの高い目的地がエリア内に少ないなどの課題がある。幹線バス利用が好調であることから、幹線バス見直しを行い利便性が向上を図る。

全体的な取り組みとして今後も利用促進を図るとともに分かりやすい路線図、時刻表の作成、ベンチの設置、運営委員会での独自事業などを検討していく。

・デマンドバス乗り場増設の検討を行う。高根町清里地内、高根町堤地内、長坂町富岡地内、旧日野春小学校前のデマンドバス乗り場の目的地設定の要望がある。

(意見等)

会長：高齢者になると車に乗れなくなったらという不安がある。バスの乗り方体験ができるイベントがあるといいのではと思う。

(その他意見等なく承認された)